

市議会だより

おおまち

173号

令和元年5月1日発行

3月定例会号



特集：3月定例会 平成31年度予算可決… 3ページ
ようこそ市議会へ：北小6年生傍聴……………12ページ
みんなのひろば……………20ページ

●表紙の写真を募集します！

●みなさんの声をお寄せください！ Mail : g-dayori@city.omachi.nagano.jp

きょうから楽しい保育園
(はなのき保育園 入園式)

撮影者：議会だより編集委員会



特集

3月定例会
平成31年度予算

可決

しっかりチェックし

次に生かします

- 一般会計 164億4,300万円 対前年比 0.3%減
- 企業・特別会計 121億3,478万円 対前年比 2.3%減

企業会計 水道事業/温泉引湯事業/公共下水道事業/農業集落排水事業/病院事業
 特別会計 国民健康保険(事業勘定・八坂診療所・美麻診療所)/後期高齢者医療/公営簡易水道

3月定例会で審議した平成31年度の主な事業と予算をお知らせします。

2020年 第2回北アルプス国際芸術祭 実行委員会への 負担金 6,120万円

- 第2回開催に向けた準備のための31年度負担金
- 2019～2020年度の総事業費は2億8,700万円

【主な事業費の内訳】

- ◎アートプロジェクト…4,850万円
- ◎食プロジェクト…700万円
- ◎サポーター活動費…300万円など



「目」作品 信濃大町実景舎(2017)

病院事業会計 55億1,940万円

- 職員賃金カット 8,000万円、
早期経営健全化に注力

【主な事業費の内訳】

- ◎信州大学医師派遣委託…2,880万円
- ◎医療機器購入…2,500万円
- ◎電子カルテ更新(1年目)
……………1億5,000万円など



経営健全化に向けて全力で取り組む大町病院

認定こども園大町幼稚園改修

施設整備事業補助金
1億7,200万円

- 私立認定こども園の改築・設備整備に対し助成するもの。31年度は大町幼稚園の改築費補助を行なう。補助対象経費の2分の1は国から、4分の1は市からの補助。



改修が予定されている大町幼稚園

運動公園 テニスコート改修

9,550万円

- 芝敷設を4面、芝張替えを2面
施工予定。



芝張替えで使いやすいコートに

霊松寺公衆トイレ建設

2,573万円

- 東山エリアの観光スポットの一つである霊松寺に公衆トイレを建設。団体客の利便性向上を図る。



現在の霊松寺公衆トイレ

学校給食公会計化

1億2,306万円

- 教職員の負担軽減と会計の透明化を図る。
給食費徴収員の賃金などの経費を計上。

【主な事業費の内訳】

- ◎給食費徴収員賃金…184万円
- ◎給食材料費…1億529万円など



楽しい給食の時間

次ページは、一般質問

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。



平成31年度予算と市長の政治姿勢について

政友クラブ 佐藤 浩樹が問う

平成31年度予算の特徴は何か

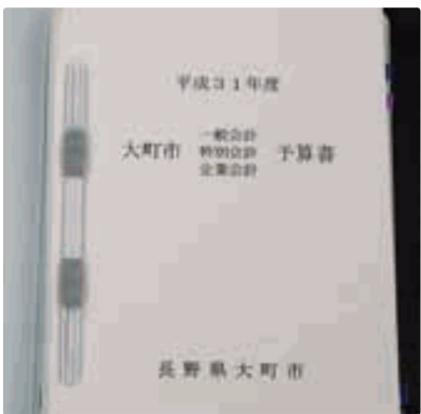
問 平成31年度予算の特徴と、どのような具体的施策でひとを育むか。

答 「ひとを育む」ことを重点に前期基本計画5年間の折り返しとなる重要な年であり、計画の着実な推進、成果に結び付けていく予算とすることを念頭に予算編成した。ひとを育む施策については学校教育業務改善加速化の1つとして学校給食費を市費として管理することとした。保護者の負担軽減に加え、教職員が、児童・生徒と向き合う時間を確保し成長につながることを期待している。子育て支援では妊娠出産の切れ目ない支援としてスマホアプリを活用し、電子母子手帳のサービスを開始し、国の施策に沿って産婦健診に取り組む。商工業分野では起業者への支援として補助制度を創設するとともにシニア世代の皆さんの就業を促進して人材不足の解消を図りたい。また、特産品の開発、販売ルートの拡大や若手農家の支援、6次産業化に対する助成にも予算配分した。

大町総合病院の健全化計画について

問 市長直轄のプロジェクトチームを設置すべきでは。

答 開設者としての市長が果たす役割を補助する組織として病院経営支援会議(仮称)の設置を検討する。これは大町総合病院が計画に沿って改善を進める取り組みを、積極的に支援するものである。



ハードからソフトへの転換を目指す平成31年度予算書



市民の暮らしを守ることを市政は最優先すべきだ

日本共産党 平林 英市が問う

市民生活を優先する予算を

問 共産党は市民アンケートを実施し、意向調査を行った。暮らしの設問では「苦しい、やや苦しい」が88%だった。苦しい原因は年金の減額、介護保険料の引き上げ、国民健康保険料の負担、物価の値上がり、などと答えている。市長はどう捉えるか。

答 生活が苦しい、とくに社会保障に関する負担が大きくなる切実な声には心が痛む。しかし、これ以上現役世代に負担を強いることは大変困難な状況で、将来にわたる現在の社会保障制度維持は限界がある。**問** 来年予定している2回目の芸術祭については、反対が56%、やり方の見直しは26%だった。税金の無駄使い、支出不明瞭で市の事業にふさわしくない、などの理由をあげている。

答 設問設定が疑問。他人から聞いた評判やイメージなどによって判断している。

常盤地区の悪臭対策は

問 臭気指数規制条例が施行されて4年が経過した。清水地区や泉地区の悪臭は基準値を超えている。改善勧告、行政指導をなぜしないのか。

答 業者から改善計画書が提出され、実施されるよう厳しく監視し、指導していく。**問** 周辺住民の生活環境が守られていると思うか。

答 市に直接苦情が寄せられた件数は泉地区が46件、清水地区が3件ある。基準値を超えた際は原因を究明して対策を立てる。



臭突を高くしても悪臭は広範囲に広がって環境の悪化が進んでいる



病院経営の最高責任者は病院開設者の市長である

虹と緑の会 大和 幸久が問う

病院経営・危機回避策は

問 今回の大町病院経営危機に至る経過では、病院の設備投資の償還ピークが、平成29年度前後になることは、事前にわかっていたことであった。他の経営指標と突き合わせて経営健全化比率を越えないか、などを事前にチェックをして、危機回避策を先行できたのではないか。

答 病院特別会計の決算事務は、3月末日でお納閉鎖をし、4月5月は調整期間となる。今回の経営健全化基準20%をオーバーしていることが判明したのは7月になってからであり、経営健全化基準の20%を上回った22%の回避は難しかった。**問** 予想外に、大量の退職希望者が出たことも経営健全化基準を超えた原因として

いる。これについては、どのような対処を行ったのか。

答 予想外の退職希望者が7名程度いることを知ったのは新年度の4月から5月ごろであり、1億円弱の退職金が、新たに必要になったこともその時知った。結果的に、国や県に報告する決算統計で資金不足比率が20%を超えて22%になったことを知ったのは7月の初めだった。

問 今回の病院経営危機の最大の問題点は、開設者である市長の「ガバナンス」経営統治能力(の欠如にある)という多方面からの指摘がある。どのような認識か。

答 経営責任は病院事業管理者にある。私も、責任を回避していると言われたいよう努める。

選挙区	当選者	得票数
大町市長	佐藤 浩樹	1,234票
大町市議会議員	佐藤 浩樹	1,234票

牛越市長は病院経営に参画している



デマンド方式への移行を歓迎する

市民クラブ 中牧 盛登が問う

市民バス デマンド方式へ

問 市民バスのあり方検討委員会で、検討した内容と今後の取り組み方は。

答 平成32年度から、新たな運行形態「デマンド方式①」への移行を目指して取り組む。

問 新たな運行形態への移行に向けた課題として、①デマンド方式を含めた方式に全面的に見直すことを検討する。②全市的にデマンド交通とするか、地区によっては路線バス方式などの併用方式とするかなど、地区ごとにふさわしい方式を検討する。③デマンド方式の場合の運行経費等の試算。等々、これらの様々な課題を検討する期間ほどのくらい必要か。

答 様々な課題を検討する期間については、2年間は必要と考えている。

問 交通まちづくりの観点から、組織再編や担当課を充実強化する考えはないか。

答 交通担当課の適正な人員配置について特段の配慮をする。

スポーツ推進計画について

問 スポーツ推進計画の全面的な見直しとは、どのような内容か。

答 総合型地域スポーツクラブの育成を基本とした、改定計画の策定に取り組んでいるが、明確な方針を示すことができず、改定作業が遅れている。

問 見直しされたスポーツ推進計画の議会説明はあるのか。

答 6月議会で、進捗状況を説明する。



全面的に見直される市民バス



農業等総合振興支援事業補助金の柔軟な対応は

政友クラブ 二條 孝夫が問う

稼げる農業農家を育成せよ

問 大町市の園芸作物を育てる環境は他の地域よりも秀でている。だから面白い農業ができる。この地で新たな農業の形を目指している人達が増えている。農業従事者の育成は急務であるが市の考えは。

答 市では25年度より「農業次世代人材投資資金経営開始型」の活用に取り組み9名の新規就農者が生まれ実績が上がっている。また、技術的不安から農業経営まで踏み込めない就農者には里親の元でノウハウを学ぶ、最長2年間の準備型資金を用意し農業経営開始まで後押しをしている。この制度で新年度から交付対象年齢を45歳未満から50歳未満に引き上げを行う。

問 今すでに就労している農業者には

様々な園芸作物を栽培しよう、園芸特産品を作ろうと頑張っている人達がいる。しかし農業等総合振興支援事業補助金交付要綱では、園芸振興事業の園芸品の対象経費が限られている。例えばワイン用ブドウの栽培への補助金はあるが生食用ブドウには適用しないなどである。意欲ある農業従事者が様々な工夫をして新たな挑戦をしようとしても限られた対象園芸作物しか補助金が出ないのはなぜか。

答 補助要綱の対象品目は、市内において産地化が見込める品目を掲載している。今後、意欲ある生産者の活動内容や産地化の可能性等について検討を行い、要綱に追加するなど柔軟に対応する。

その他 中心市街地の活性化について質問。



稼ぐ農業には販路が大事だ。農林水産課商工労政課「海外販路支援プロジェクト」始まる



疑われる場合、いつどこへ連絡・通報するのか

政友クラブ 岡 秀子が問う

虐待等の子ども 命を守るには

問 大町市における虐待に近い事例、あるいはネグレクト等の実態を把握しているのか。通報の義務についての周知啓発は。

答 児童虐待に係る相談・通報件数は、本年度2件である。他に経過観察を行っているケースが30件である。関係機関と連携し、見守りを行っている。周知啓発は、要保護児童対策地域協議会が、毎年11月に行っている。

問 学校現場における「言葉遣いや態度」の変化「体の傷やあざ」「理由の不明な遅刻、欠席」等への対応はどうか。

答 教職員、友人への態度、生き物への残虐な行為、着衣の汚れや疲労感、遅刻や欠席、低身長や体重減少等、学校生活全般

において注視が重要である。複数の教職員や、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー等のチームで、情報収集や状況判断し、虐待が疑われるケースでは、関係機関と連携し、未然防止、早期発見に努めている。

問 市民が虐待を受けたと思われる児童・生徒を発見した場合、どのタイミングで、どこへ連絡・通報をしたらよいのか。

答 疑われる場合、休日・夜間を問わず、全国共通ダイヤル189(いちはやく)あるいは、警察への通報を呼びかけている。子育ての悩み相談も受け付けているので、189の周知・啓発を進めていく。

その他 当市の少子化と小規模校化している義務教育のあり方、小児の眼科屈折検査の現状等市民の健康を質した。



全国共通ダイヤル189(いちはやく)か、警察へ通報を

用語解説 ①デマンド方式

利用者の要求(デマンド)に応じてタクシーのように運行する新しい交通の仕組み



言いにくい事だからこそ、
しっかり言っておきたい

堀 堅一が問う

大町病院は市民 のためにあれ

問 2018年7月5日の厚労省厚生科学審議会の医薬品制度部会で日本医師会副会長の中川氏は、院外処方への調剤関連技術料や患者負担は、院内処方比べて高いことを問題視し「病院内での処方へ回帰する議論があってもいいのではないかと提起した。日本医師会総合政策研究機構が2015年に出したレポートでは、国民が負担している調剤技術料は院内、院外を合わせて2兆5000億円にもなると報告している。もしも、全ての処方を院内処方の方の点数で対応した場合の費用は8000億円程度と推計した。レポートから分かることは、日本中の病院がその窓口で薬を渡すのであれば国民の負担は8000億円だが、1兆

7000億円もお金を患者さんが、余計に負担しているのだ。国民も大町市民も払わなくても良いお金を一人14200円も負担しているわけだから大町市の人口27000人をかけると、3億8340万円も余計なお金をお薬に支払っていることになる。大町病院再生には院内処方が検討されるべきと思うが見解を答弁されたい。
答 院外処方、費用負担の問題をはじめ、高齢者や体調の良くない患者に対する利便性から望ましくない点もある。院内処方にするには、薬剤師の確保を含め、人件費、経費が増加することにより病院経営に与える影響も少なくないことや、民間の調剤薬局の運営にも影響を及ぼすことになる。今後、関係する国の審議会や診療報酬改定の動向も見極め、慎重に判断していく。



高齢化が進む今こそ、
お薬がより安くなる院内処方



帰ってこられるまち・
住み続けられるまちに！

政友クラブ 降旗 達也が問う

移住・定住対策 に更なる注力を

問 移住・定住促進への取組みと成果は、市内に、定住促進本部会議等を設置。市民、行政、関係団体などが連携し、大町市定住促進協議会を設置。ここが中心となり取組んできた。取組み成果は出ている。
問 事業の検証と、今後への反映は。
答 転入者、転出者にアンケートを実施し、前回と比較することで効果を検証する。
問 市内男性未婚率は県平均を上回り、女性未婚率は下回っているが、見解を伺う。
答 個性を尊重する人権意識やライフスタイルの変化など家や家族の絆が薄れ重要度が低下していることも一因と推測する。
問 社人研②の調査で、結婚の意思のある未婚者の割合が非常に高いという結果が出ている。当市でも行政が結婚支援専門の部署を設け、危機感をもって取組むべきでは。
答 行政が結婚を支援していくことの大切さ、必要性も認識しているが、直ちに専門部署を設置することは考えていない。
問 進学等で大町市を離れ暮らしている子どもたちが帰ってきたいと思える地域、この地域で暮らす人たちが住み続けたいと思える地域にならないとダメだ。定住促進ビジョンの基本目標達成のために今後の事業展開・方向性をどう考えているか。
答 目標達成には、大町市を知ってもらい好きになってもらうことが第一。その上で様々な問題の解決により、移住定住につながることを考える。大町を離れた方も大町に戻り定住できるように全庁態勢で取り組む。

帰ってきたいと思えるまちに。
住み続けることのできるまちに。



帰ってきたいと思えるまちに。
住み続けることのできるまちに。



経営の人材を集めよ。
病院の理念を確定せよ

たかはし たかのり
高橋 正が問う

病院ガバナンス の体制を整えよ

問 外部からも人材を入れて経営の集団体制を作り、中・長期の展望・改革を議論すべきと思うがどうか。
答 外部専門家からの意見は重要。外部からの職員の登用を進め、効果的な体制づくりを進める。
問 病院が厳しい状況に至った原因は、経営形態によるものではない。判断ミスさえなければ全通③の方が安全だと思う。独法④と全通についてどう認識しているか。
答 地方公営企業法では、病院は市の組織の一部である。独立行政法人は市とは別人格の法人となる。人員の管理や給与財務管理などに多くの相違点がある。平成33年度までに方向を決定する。

効果のある有害獣駆除を急げ
問 平北部・美麻・八坂・社地区で猿・鹿・イノシシなど、害獣被害がますます拡大し、耕作放棄に至っている。今までの市のやり方では被害は止まらない。山間地は山沿い地区などが耕作放棄になれば、その地域の生活は破綻し、地域の存在そのものが危うくなる。駆除に対する考え方・駆除の方法など、実態に合った方法に変えるべき。
答 被害を防ぐ対策をさらに強化する必要がある。有害鳥獣の効果的捕獲方法など、今までにない新たな方策も検討していく。



病院の安定化に向けて、しっかりした中・
長期の計画を作れ。

用語解説

- ③全通 「地方公営企業法全部適用」のこと
- ④独法 「独立行政法人」のこと

用語解説

②社人研

「国立社会保障・人口問題研究所」のこと。厚労省内に設置された国立の研究機関で、人口・経済・社会保障に関する調査研究を行なっている。



合併後の水道料金の格差を早くなくして

日本共産党 松島 まつしま さちこ 吉子が問う

水道料金の統一を早く実施して

問 大町市と八坂村・美麻村が合併して14年目に入った。合併前の任意協議会では、「15年後を目途に上水道と簡易水道の統合を目指す」としている。また水道事業経営審議会は平成29年に市長への答申で「水道料金の格差について検討すること」と付している。現在どのように検討しているのか。

答 統合した場合、簡易水道の財源として有利な過疎債の借入れが出来なくなるなど、財政的に不利になり、統合は適切でないと考えます。料金格差は来年度中に審議する組織を設け、経営審議会の審議と併せ、総合的に判断し、料金体系を設定したい。

補聴器や風疹予防接種の補助は

問 加齢による聴力低下の人が増えているが、補聴器は高額で低所得の高齢者に大きな負担。公的補助制度の創設を提案したい。また風疹の抗体検査とワクチン接種無料化の対象年齢外の人や子どもを持ちたいと願う女性への市独自補助はできないか。

答 加齢による低下は視力もあり、眼鏡購入の補助もなく、補聴器の補助も考えていない。風疹の抗体検査や予防接種は対象者の見直しにつき、全国市長会を通じ要望しており市単独補助は慎重に判断していく。

大町公民館分室のトイレ改修を

問 多くの利用者がある分室こそトイレの早期改修を求めたい。

答 2020年度に実施する予定。



命の源である水は自治体を守るべき。八坂簡易水道・小菅のポンプ小屋



公共施設は利用し易いよう管理監督されているのか

虹と緑の会 栗林 くりばやし まなぶ 学が問う

公共施設のあり方の検討を

問 公共施設の管理運営の課題は何か。

答 施設の管理運営は指定管理者が行う自己評価と施設所管課が評価を行う。施設の老朽化に伴う修繕箇所増加や労働力不足にともなう運営のコスト増加、施設本来のあり方や今後の方向性など検討する必要がある。目標を定め、設置者である市と指定管理者とが手を携え、取り組むべきと考えます。施設運営における課題の改善に向けた検討を進める。

問 指定管理施設である上原の湯を例に伺う。平成30年4月から利用料金と利用時間が変更になった。利用状況をめぐる調査はされているのか。

答 指定管理者が、独自に利用者の確認

のアンケートを行った。今後、施設運営に反映させたい。

問 上原の湯のアンケート調査には開館時間の延長を希望する声もあるが変更の可能性はあるのか。

答 変更は指定管理者と協議の上、市長が認めればできる。

問 指定管理者は2期目に入っているが、1期目は赤字が続いていた。2期目は指定管理料が1期の2倍で、しかも1時間の短縮となっているが、平成30年度の上四半期では赤字となっている。専門の方と指定管理料の積算根拠を適切にして健全な経営となるようにすべきではないか。

答 指定管理料は5年間の実績で加味されたものである。



公共施設 上原の湯



大町市民は地域の医療施設として存続を願っている

市民クラブ 大原 おおまや とみよし 富義が問う

病院の健全経営は市経済の要だ

問 人口減少のなかで、大町市の生き残りのためには、医療体制の充実や、身の丈に合った公共施設とすることが必要。大町病院が地域に果たす役割は。

答 若年層の定住促進や、訪問診療・介護などを通じて安心して療養生活が送れる医療環境を整えていくことだ。

問 病院があることにより、直接的には市民の安心や雇用などの経済価値、間接的には企業誘致や定住施策などにつながっている。病院のトラブルが大町にとって大きな打撃や影響を及ぼす可能性がある。持続可能な体制を考慮したものか。

答 今回の計画は、大町病院の経営を維持するための改善を第一に考えたものだ。

問 平成30年度の決算予想では、純損失が8億円を超え、累積欠損金では、28億円にもなる。これはどう解釈するのか。

答 退職給与引当金の6・8億円を一括で処理したことによるものであり、これは現金を伴わない損失である。今年度の医業収益は2億円以上の増収となっている。

問 連合長野が昨春秋に実施したアンケートでは、大町市民が「大町病院を利用する」としているのは約半分だ。病院に対する批判も多い。市長はどう思うか。

答 すべて読んだが、厳しい意見もあった。回収率は約3分の2であり、このような結果は、大町病院に対する市民からの応援だと受け止めた。病院の生きの長い取り組みが必要と思っている。



大町が生き残るために健全化計画の実行が不可避の大町病院



シンガポール出張で、海外販路
拡大事業の成果と展望は

じんじや まさゆき
神社 正幸が問う

海外販路拡大事業の展開は

問 大町の水、米、酒の海外販路拡大事業で、シンガポールに出張したが、その目的と成果はあったのか。

答 海外市場の日本食ブームで大町市の農産物や加工品の海外販売に大きなビジネスチャンスが期待が高まっている。海外における市場調査や輸出の可能性調査を目的に実施した。現地では日本食ブームで日本産品の人気は高い。すでに大町市の水も販売され、輸出の手続きの難しさはあるがビジネスチャンスは大いにありと判断する。日本食の見本市への参加も検討したい。

問 販売は信濃大町をイメージしたものであるべきだが方法はあるのか。

答 人気度の高い、黒部雪の大谷や北アルプス山麓ブランドを販売戦略に利用した。

問 商工労政課、農林水産課だけでなく観光課の参加も必要と考えるが。

答 観光キャンペーンも実施し、少ない経費で最大の効果を目指して連携を強化する。

問 31年度の取り組みと予算は。

答 海外販路開拓を希望する市内事業者とともに、先進地視察などの調査研究を進め、海外バイヤーの招へいなどで市が地元業者と輸出事業者の橋渡しをし、具体的な取引開始に取り組みたい。また若手稲作農家との意見交換会や、米の輸出説明会に参加し意欲的な事業者との協力体制を構築したい。



北アルプスの湧水が育んだ、水・米・酒・農産加工品の海外販売で、経済の活性化を



家庭の子育ての充実こそが
大町の未来を決める

公明党 太田 昭司が問う

「人を育てる」の原点は子育て

問 新年度より始まる電子母子手帳について聞きたい。

答 電子母子手帳の導入により、子どもの予防接種日が近づくこと保護者のスマホなどに通知が送られる。また子どもの発育状況が自動的にグラフ化されたり、子育て日記なども記録できる。その他、子育て情報などもタイムリーに配信される。

問 大町市には、赤ちゃんの体操やマッサージ、マタニティヨガなど、様々な活動がある。これらを子育て中のお母さんが利用するためのクーポンを発行できないか。

答 市では様々な子育て支援を行なっているが、よりきめ細かな支援を行うためには民間団体との連携が必要である。クーポン券などの活用も検討・研究していく。

市の文化資源「空き家」の活用を

問 一昨年の芸術祭では多くのアート作品が古い伝統家屋を利用した。中心市街地の活性化にとって空き家の活用は決定的に必要な。モデルとなるリノベーションが生まれれば若者の目を引く。来年の芸術祭でアーティストとして建築家の採用も検討できないか。

答 伝統家屋を地域資源と捉え芸術祭において活用することは景観形成や魅力の向上につながる。北川総合ディレクターと情報共有し積極的に取り組む。建築家の採用についても、前回同様、可能性はある。



ぜひ、民間の子育て支援の講座やサービスに使えるクーポンの発行を

ようこそ 大町市議会へ

2月27日(水) 大町北小の6年生70名が市役所を訪れ一般質問の様子を見学しました。
印象に残ったこと、市や議会にお願いしたいことなど、感想の一部を紹介します。
熱心に聴いてくれてありがとう!

○どんなことが印象に残りましたか？

- ・質問する議員と答える人のやり取り。質問が途切れず、答えもすぐになっていたのが印象的。
- ・とても熱心に婚活の話をしていました。
- ・移住・定住に力を入れてくれていると感じた。
- ・議長を中心に話し合いがスムーズに行われていた。
- ・議会が静かで集中していてすごい。

○その他に感想は？

- ・少し難しい話でしたが興味がわきました。
- ・自分の意見をきちんと言うことは大切だと思った。
- ・市民のためにしっかり話し合いをしてくれてうれしかった。
- ・言葉が難しかったけど、真剣に話していてすごい。
- ・迫力があっていい体験でした。

○市や議会にお願いしたいことはありますか？

- ・机やイスを新しくして。机が割れてトゲがある。
- ・トイレなど学校をきれいに。
- ・お店を増やして。
- ・大町のスポーツを盛んに、イベントを増やして。
- ・祭りなどの行事をさかんに。
- ・教室にクーラーを早くつけて。
- ・もっとよりよい大町を作ってください!
- ・サイクリングコースを作って。



北小6年生熱心に見学

難しい言葉でのやり取りに真剣に耳を傾けてくれました

議員が 質した 3月定例会

3月議会は「予算議会」とも呼ばれ、次年度の各会計予算審査を中心に行います。次年度の予算と事業について各常任委員会でも審議した内容を要約してお知らせします。

総務産業委員会

議案第20号

平成31年度大町市一般会計予算

まちづくり交流課

問 次回の北アルプス国際芸術祭にはクリエイティブデザインクワターを登用することだが役割は。

答 一目で北アルプス国際芸術祭だとわかるデザインの制作を依頼する。グラフィックデザインを中心に選定中。

商工労政課

問 創業支援事業のワークショップ・テレワークについて。

答 大町市創業支援協議会が開設した coworking space において、塩尻市振興公社と連携して ICT を活用した、時間や



coworking space (北アルプスentrance) 交流スペースとしての活用が進むか

場所にとらわれない労働環境を整備する取り組み。

観光課

問 大町市プロモーション委員会負担金の内容は。

答 テレビでの番組放映、J

R 東日本の車内情報誌への掲載、首都圏などでのキャンペーン、新たに取り組むウェブプロモーション①として、インフルエンサー②の招へいによる SNS ③等の情報発信、駅前空き店舗を活用した、情報ステーションの設置などである。

農林水産課

問 地域特産品加工事業の補助地区について。

答 ワイン、シードル④醸造施設に対する補助で、ワインについては、平地区、シードルについては、常盤地区の2施設を予定している。

八坂支所

問 移動購買車の購入補助について現状と課題は。

答 使用していた車両の故障

に伴う新規車両購入に係るものである。移動購買車がなければ生活必需品を調達できない高齢者も多い。軽トラックをベースとした車両を導入することにより、従前は、集落単位への巡回であったが、戸別訪問も可能となり、高齢者の見守りも含めて対応が可能となる。

美麻支所

問 地域振興支援員の活動状況について。

答 八坂地区同様、地域課題の発掘、地域づくり会議の業務を担っている。各戸訪問によるアンケート調査を実施し、集約中である。また、学社連携事業として、花豆の特産化、生産拡大を進めている。

消防防災課

問 常盤清水積載車庫改築の建設用地及び構造は。

答 用地については、消防団からの要望もあり、現在、建設されている清水公民館隣接地となる。構造については常盤西山地区と同様、倉庫製造メーカーの既製品を設置予定。



花で彩られた駅前広場公園(昨年の様子)

建設課

問 全国都市緑化信州フェア事業の内容など。

答 4月25日から53日間開催されるもので、県松本平広域公園をメイン会場として、市内においても、国営アルプスあづみの公園大町・松川地区をサブ会場として、また、信濃大町駅前から中心市街地周辺、ラ・カステラ及び大町温泉郷の3箇所をサブ会場として整備を進める。

社会文教委員会

議案第30号

大町総合病院経営健全化計画の策定について

問 どこまで収支が改善すれば健全な経営だと考えるのか。

答 資金不足をどうやって解消するのが計画の主眼であり、資金不足比率があれば、いくら毎年赤字を出しても経営は健全化してはいないという判断となる。

議案第28号

大町市病院事業会計予算

問 もしも新年度で給与削減を実施しない場合、どのような影響が出るか。

答 もしも給与削減を実施しなければ、また赤字になる可能性が出る。そして一時借入金返済ができなくなり、資金不足比率も改善できなくなる。そのようなことは国も認めてくれない。このことは労働組合とも十分協議し承諾を得ている。その上で、給与削減を早期に解消できるように努力していく。

議案第20号

平成31年度大町市一般会計予算

生涯学習課

問 2回目となる美術展ベストセレクションは、どのような計画か。

答 大町市民の持つ芸術性を広くPRすることが目的である。来年5月頃の開催予定である。準備経費として31年度は約50万円を計上している。

福祉課

問 障害者自立支援給付事業とはどのようなものか。

答 これまでヘルパーが行うことができたのは買い物や掃除などに限られていた。しかし実際に障がい者が地域で暮らしていくためにはゴミ出しなどの細かな日常生活の支援も必要である。このような見守りの支援を月何回かの頻度で行っていくもの。

議案第21号

平成31年度大町市国民健康保険特別会計予算

国民健康保険課

問 国民健康保険広域化により、今後、国保税の引き上げを

心配している。税率の算定方式を見直すことなど考えているか。
答 国保税率の維持については基金を取り崩しながらの税率維持には限界がある。当市で採用する算定方式は、均等割、所得割、平等割、資産割を合計して算出する4方式というもの。広域化により県では、資産割を除く、均等割、所得割、平等割の3方式が採用されている。大町市も3方式への移行も視野に入れ検討する必要があると考える。

議案第13号

平成30年度大町市一般会計補正予算

福祉課

問 平成30年度の生活保護扶助費のうち医療扶助を補正で4000万円減額した要因は。

答 医療扶助は治療内容により増減に大きく影響する。昨年度までは心疾患やがんの治療が多かったが、30年度は大きな支出の見込みがないため減額した。

用語解説

- ①ウェブプロモーション Webコンテンツをつかい行う宣伝広報活動
- ②インフルエンサー 人々の消費行動に大きな影響を与える人物のこと
- ③SNS ソーシャル・ネットワーク・サービスの略。社会的な繋がりを提供するサービス
- ④シードル リンゴの発泡酒

**議案第20号
平成31年度大町市一般会計予算**

一般会計から病院事業会計への繰り出し金や芸術祭関連予算について議論となった。

賛成 (原案賛成 修正案反対)

病院への繰入金を8000万円増やせという修正案は認められない。しかもこの8000万円は市民に丸々負担を求めることだ。当然ながら、市民理解を得られるものではない。(堀)

大町病院の経営は、健全化計画に基づき進めるべき。基金を崩してまで対応する根拠はない。病院と市の財政健全化を考えれば修正案は無責任な対応。修正案には反対。(大塚)

第1回の北アルプス国際芸術祭では、来場者はのべ43万人、市内消費総額も4億7000万円という成果を得た。第2回の芸術祭も地域活性化のアプローチとして大いに期待し賛成する。(太田)

人口減少や福祉の充実など山積する課題の解決にはスピード感と目に見える成果が必要。人材育成と足元の経済立て直しを両輪とし、市長はじめ全職員の更なる奮起を期待する。(小林)

生活保護制度は生活保護法令、生活保護実施要項に従って実施され、国の生活保護基準によって運営されている。そこに次年度予算の中での市の裁量はできない。(二條)

反対 (原案反対 修正案賛成)

第2回国際芸術の予算に反対する。作家が確定せず、第1回を参考に実行委員会が1億7千万円の作品制作費を積算計上したもの。あてがいぶちで北川フラム氏に作品制作費を預けるもので、認められない。(大和)

生活保護費削減は市長の政治責任が問われる問題で、予算削減は承認できない。新年度の芸術祭予算は市民の理解が得られていない。市民生活中心の予算に振り替えるべきだ。(平林)

**議案第28号
平成31年度大町市病院事業会計予算**

病院職員の給与削減等について議論となった。

賛成 (原案賛成 修正案反対)

ハッキリ言って議論にも値しません。四半期ごとに病院から報告を受けるわけだから、良い決算となるように議会として協力していくことこそが大切であろうと考える。(堀)

「経営健全化計画」に基づく初めての予算で、計画の実行が大前提である。全病院職員の協力のもと、収益確保とコスト削減を進め、抜本的な改革により、収支改善を図り、経営の健全化と早期の給与削減の解消を望む。(岡)

反対 (原案反対 修正案賛成)

この大町病院健全化計画は3年間に及ぶ病院職員の給与削減が前提となっている計画書であり、反対する。経営の健全化が図られたら元に戻すとするが、その具体的判断指標が明確ではなく、固定化される懸念がある。(栗林)

病院職員の賃金カット8千万円を含む本予算に反対する。医師・看護師等の流出を招くだけだ。最高責任者の市長が何も責任を取らない中、百害あって一利なしの賃金カットは直ちに中止すべきだ。(大和)

**陳情第4号
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情**

賛成 (原案賛成 委員長報告反対)

消費税は所得の低い人ほど負担が重く、家計や地域経済への影響も計り知れない。軽減税率は複雑で混乱を招く。消費税10%への増税は反対、国に意見書を上げるべき。(松島)

消費税増税によって景気が悪化し、貧困層に負担が多くなる。政府が本当に必要な部分にその税金を使っているのわからない。今回の増税だけでは根本的な問題解決にならない。(栗林)

反対 (原案反対 委員長報告賛成)

共産党は、消費税も上げるべきでないとの主張だが、一体どこからお金を持ってくるのか。税や社会保障が財政全体の中で十分に機能して国民生活が改善されていくことを強く望む。(堀)

消費税の増税は社会保障税につながり、すべての国民が消費活動により薄く負担を求める税制度で、増税の中止を求めることは将来の我が国を破綻させることから、委員長報告に賛成とする。(佐藤)



3月定例会最終日の議論の内容を要約してお伝えします。

議論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。採決の結果は、次ページの審議結果をご覧ください。

**議案第4号
大町市及び池田町における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について**

議案5号・6号・7号も同様

反対

総務省の自治体戦略2040構想に連なるもので、市町村・都道府県を「圏域行政」にシフトさせ、全国10か所の道州制制定が目的。地方自治制度の原点をくつがえすもので、人口減少時代の今、地方自治の発展こそ必要。(大和)

賛成

人口減少社会の中で行財政の効率化が求められる。若者交流、移住交流、成年後見支援、消費生活相談など市町村が住民サービス向上のための広域連携は非常に重要である。(二條)

**議案第30号
市立大町総合病院経営健全化計画の策定について**

大町病院の早期経営健全化に向けた取り組みを定めた健全化計画策定にあたり、その内容について審議した。

賛成 (原案賛成 修正案反対)

大町病院の健全化計画は、労働組合との協議を経て提案となったものであり、修正の必要性はない。健全化計画の確実な実行を期待する。(大塚)

収支の改善が見込めるときには給与削減をしない事もできているが、収支の改善とは何か。何一つ数字の記載されていない修正案など認めるわけにはいかない。(堀)

職員給与削減は、大町病院労使交渉で双方が折れあって交渉をまとめ、ギリギリのところ妥結したもの。労使が交渉した妥結内容を、外部の者が修正する権限はない。(中牧)

人件費削減は労使合意であり、重く受け止めるべき。求められているのは今進められている健全化計画を確実に進めることで、元に戻すような提起はすべきではない。議会として何が出来るか提案し行動すべき。(神社)

今まで職員を守るためにやったことが、病院を窮地に追い込んだ。「職員を救うこと」と「病院再生」は同義ではない。「病院を改革・再生させること」が職員を救うことになる。(高橋)

反対 (原案反対 修正案賛成)

大町病院健全化計画は職員給料の削減に3年耐えるような計画となり、職員の具体的目標が見えて来ない。(栗林)

大町病院経営検討委員である牛越病院開設者のガバナンスについて言及がない。経営破綻を招いた経営方針を決定してきており、最も重い責任がある。外部専門家による検証と結果の公表をすべきだ。(大和)

市民の声は、経営責任のない一般職の給与・賞与削減は経営健全化につながらない。むしろ勤労意欲をなくし、退職する職員が出る懸念があるとの指摘がある。(平林)



みんなのひろば

各小学校の
新小6年生に聞く

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。
今回は、市内小学校の新6年生にインタビューしました。

今年はいよいよ6年生の
それぞれの目標をもって
頑張っている様子が伝
わってきて、とても頼も
しいですね。



北小学校6年 なかむら けんた 中村 謙太さん

- ① 自然が多く登山やスキーができるところです。
- ② レントゲン技師になることです。
- ③ バレーボールと柔道です。



美麻小中学校6年 ほそや ゆうと 細谷 祐斗さん

- ① 自然が多くあり、遊びも自然の中でできる。
- ② スポーツ選手になりたい。
- ③ 山留センターでやる太鼓のレベルアップ。



西小学校6年 にしな ゆうき 仁科 有貴さん

- ① よいところは、初夏の北アルプスです。
- ② 将来の夢は、後世功績を残せるような科学者です。
- ③ がんばっていることは、児童会活動です。



- ① 大町市のよいところは？
- ② 将来の夢はなんですか？
- ③ 今がんばっていることは？

八坂小学校6年 いながき ゆき 稲垣 有希さん

- ① 緑がいっぱいあって、空気がおいしい。
- ② 山村留学センターの指導員。
- ③ 八坂の灰焼きおやきを全国に知ってもらおう。



東小学校6年 まつだ かな 松田 菜奈さん

- ① あいさつをしたらみんな返してくれるところ。
- ② 人助けができる仕事がしたい。
- ③ 図書委員長としてたくさん本を読むこと。



南小学校6年 よしざわ あいな 吉沢 藍那さん

- ① 自然豊かで、いろいろな季節の顔が楽しめる。
- ② 料理人もしくは医者になりたい。
- ③ 剣道の練習とピアノです。

